

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	防犯施設整備事業		コード	01-04-03-02
			担当課・係	市民課・生活安全係
			担当者	芳田 猛
			電話	0869-64-1876
事業実施期間	平成17年度～			
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり		
	小項目(施策)	地域防犯		

事業について	
目的 (何のために)	犯罪の発生を抑止するために設置した防犯灯などの施設の維持管理
対象 (誰・何を対象に)	夜間歩行者
内容	市管理の防犯灯の電気料金の支払い事務及び修繕

実施項目	17年度		18年度		回数など (単位)
	回数	単位	回数	単位	
防犯灯管理数	379	基	377	基	
市電気料金支払灯数	185	基	183	基	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,647	国県補助金等		直接事業費	2,492	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	1,518	受益者負担		人件費	1,477	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債				市債				
合計	4,165	一般財源等	4,165	合計	3,969	一般財源等	3,969	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.12	人	0.18	人
結果指標名	防犯灯管理数		防犯灯管理数	
結果指標量	379		377	
単位	基		基	
対前年比	-		99.47%	
活動にかかるコスト	2,099,420	円	1,720,045	円
単位当たりコスト	5,539	円	4,562	円
結果指標名	電気料金支払灯数		電気料金支払灯数	
結果指標量	185		183	
単位	基		基	
対前年比	-		98.92%	
活動にかかるコスト	2,065,580	円	2,248,943	円
単位当たりコスト	11,165	円	12,289	円

事業の成果	どのような成果を得ようとしているか		
	防犯灯の維持・管理には相当な経費を必要とすることから、市と地域の役割分担を構築する。		
成果指標名	電気料金支払灯数	式又は説明	市が電気料金を支払っている防犯灯の数
	17年度	18年度	
成果指標量	185	183	
対前年比	-	98.92%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成28年度

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	C
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:	現状では、防犯灯の維持管理を取り止めることは、市民の理解が得られにくい。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯については、一部の地区に限られており見直しが必要と考える。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	事業費は、電気代・修繕料・人件費が主であるため、現状のままでのコスト削減は困難である。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯が老朽により使用に堪えなくなった場合には、市と地域の役割分担の中で、新設、修繕、撤去を考えながらコスト削減に努める。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	成果指標の向上が見込めるものの、犯罪発生を抑止力を低下させないことに留意する必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価 <A~E>	B

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 369	結果指標量 175

総合評価		評価区分 <A~E>
犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であるが、防犯灯については、市と地域との役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。		B

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	市維持管理の防犯灯の撤去	平成20年度～	コスト削減